




平成17年度 湯沢砂防公開講座  
魚沼自然塾


- Uonuma Nature School -



第3回



山々が色づく頃、大地の営みを感じてみませんか？  
(現地見学とお話)



平成17年10月15日(土)

於：魚沼市(広神ダム、兎畑地区、中山隧道、広神農村環境改善センター)

しおり

<b>プログラム</b>	8:45~	小出駅集合・受付、バス出発
	9:20頃	広神ダム見学
	10:15~	兎畑地区と中山隧道の見学、クイズ
	12:10頃	農村環境改善センターにて昼食 お話・意見交換「震災から1年」、クイズ解答
	14:25頃	バス出発、小出駅にて解散

主催 - 国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所

共催 - 十日町市、南魚沼市、魚沼市、川口町、湯沢町、塩沢町、  
津南町、長野県栄村、国際大学、(社)雪国青年会議所、  
(社)十日町青年会議所、(社)小出青年会議所、魚野川を育む会、  
中津川整備を実現する会

後援 - 新潟日報社・(株)エフエム雪国、(社)北陸建設弘済会

## はじめに

昨年10月23日の中越地震からまもなく1年が経とうとしています。地震ばかりでなく、その後は豪雪や梅雨前線豪雨、台風によって全国的にも大きな災害が発生し、防災について認識を新たにされた方が多いのではないのでしょうか。

そこで、今年の魚沼自然塾では、「わたしの魚沼、再出発!」を通年テーマに、災害に負けない地域づくりを考えています。

今年第3回目となる今回は、「山々が色づく頃、大地の営みを感じてみませんか?」をテーマに、震源地に近い魚沼市で、地震によって崩壊した山々や、震災直後、芋川河道閉塞対応の前線基地であった広神ダムを見学し、被災した地元の方や災害復旧に携わった方々のお話を伺います。

現場見学や関係者のお話、意見交換会やクイズを通して災害と防災について考えてみてください。



### 魚沼市の地形地質

平成16年11月1日、広神村、守門村、小出町、湯之谷村、入広瀬村、堀之内町が合併し、魚沼市が誕生しました。

魚沼市の地形・地質は、破間川を境に東西で2分されます。東側は花崗岩を主体とした固く古い地層によって構成された高い山々が立ち並ぶのに対し、西側は堆積岩を主体とした脆い地層によって構成された低い山々が分布します。

### 新潟県中越地震

平成16年10月23日、17時56分に新潟県中越地方の深さ13Kmでマグニチュード6.8(暫定値)の地震が発生し、川口町で最大震度7を観測しました。

本震後も余震が次々と発生し、12月28日までに発生した震度5弱以上の地震は延べ19回を数えました。この地震により、長岡市・小千谷市・川口町・十日町市・魚沼市などで、地すべりやがけ崩れなどの土砂災害が多発し、大規模な土砂崩壊や地すべりが川をふさぐ河道閉塞も発生しました。

## 広神ダム

広神ダムは、一級河川信濃川水系破間川の支川和田川において、新潟県が建設を進めている多目的ダムです。

広神ダムでは、平成 16 年からコンクリートの打設を開始しています。昨年は梅雨前線豪雨や新潟県中越大震災の度重なる災害の影響を多大にうけたまま越冬期間に入りました。雪解後すぐに工事用道路や法面の復旧作業を優先して実施し、現場の安全を確認して、平成 17 年 6 月 10 日からコンクリート打設を再開しています。

(県ダム管理課HPより)



広神ダムの建設状況

## 中山隧道



中山隧道坑口（魚沼市側）

中山隧道は、旧古志郡山古志村～北魚沼郡広神村を結ぶ、地元住民手掘りのトンネルです。手掘りのトンネルとしては日本で一番長く、約 900m もあります。

トンネルがなかった昭和初期、用事がある時や病人が出た時は、険しい中山峠を片道 2 時間近くかけて越え、吹雪の時には死者も出たと言われています。

隧道掘りは 16 年間にも及び、苦難の連続でしたが、昭和 24 年についに完成しました。

## 兎畑地区

広神ダム建設のため住民が集団移転した兎畑地区。現在はコンクリートのプラントが置かれています。中越地震では斜面の崩壊や道路の被害が発生し、現在もその爪痕が残っています。



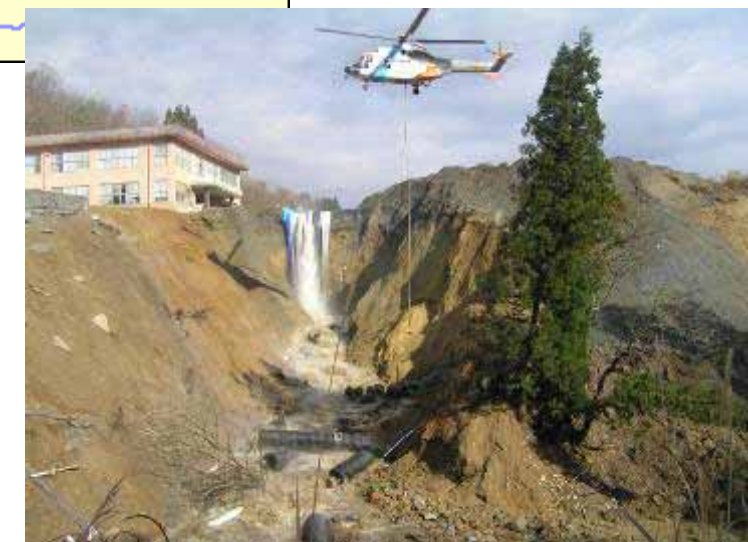
現在も山々や道路に残る地震の爪痕



旧兎畑地区集団移転前の様子(昭和 61 年 10 月撮影)

## 中越地震直後からのヘリ基地となった兔畑地区

中越地震では道路が各所で寸断されたことから、物資・人員の緊急輸送にはヘリコプターが使われました。芋川河道閉塞の緊急対策工事では、大型土嚢や仮設資機材等が自衛隊からの支援を受けてヘリで輸送されました。また、東竹沢地区と寺野地区の河道閉塞対策では、吐口部の侵食対策のためのブロック投入などがヘリで行われ、兔畑地区が基地となりました。



第3回魚沼自然塾の申込みに際し、皆様から中越地震に関するアンケートをいただきました。一部紹介させていただきます。回答いただきました皆様、ありがとうございました。

### 「中越地震から間もなく1年。あなたの思いは？」(回答数：37)

#### 地震の恐怖

- ・ 昨日、小千谷市に用があり山古志村の近くの所に行って写真をとってききましたが、あの妙見近くの山を見て驚きました。地震の偉大な力とその恐ろしさ、おののく思いです。(魚沼市/男性)
- ・ こわかった。二度とごめん。(南魚沼市/女性)
- ・ 10/23 17:56 いきなり地面があのようにごくゆれるとは。皆様から電話がなりっぱなし。家へ入ると又ゆれる。夫と窓をあけ靴をはいて指定の公民館の広場へと。車の中で避難していました。とにかくこわかったです。18:34時は伏せていました。(十日町市/女性)
- ・ 六日町断層とか心配です。(南魚沼市/男性)

#### 災害からの立ち直り

- ・ 地震で家屋が全壊、50日間の避難所生活その後仮設住宅生活。豪雪との闘い、心身とも疲れたが今自宅を新築中、早く移り住みたい。(川口町/男性)
- ・ 昨年11月から空家さがし25件。ようやく7月中旬にみつきり、修復工事に200万位投資し、昨日やっと引越が完了しました。脳梗塞と闘いながら辛い日々です。(十日町市/男性)
- ・ 震度7から早くも11ヶ月、町は非常に淋しくなりました。(川口町/男性)
- ・ 当家も被災を受けました。コンクリート、地面、風呂場、壁の修理を行っています。住居出来ますので幸いです。(魚沼市/男性)
- ・ 自宅での被害は少なかったのですが、至る所の復興工事が眼につきます。もう少し人員を動員して早期回復が出来ないものかと素人ながら思われます。(魚沼市/男性)
- ・ 幸い私の住む地域はほとんど地震の被害はありませんでしたが、小出郷文化会館の周囲や道路には地震の爪痕が残りました。写真を写すため川口の木沢地区に行きますが、土砂崩れの跡も自然の力が大きく(治す力)大部木や草が生えて目立ちにくくなりましたが、完全に元にもどるには5年から10年位かかるのではないかと思います。(魚沼市/男性)



## 反省・教訓

- ・ 地震について何も知らなかったことに改めて痛切に感じます。(小千谷市/男性)
- ・ 震度「7」という自然の脅威に一時は言葉を失ったが、それ以上に大震災では様々なドラマがあったこと、それを通じて人間の凄さを実感した。物心両面に大きな傷跡を残したが、自然の怖さと合せて自然に生かされていることを感じます。(川口町/男性)
- ・ 我家の修理はこれからです。多分一生忘れられないと思います。人との助け合いの大切さを学びました。(十日町市/女性)
- ・ 行政は勿論、住民1人1人が災害に対する心構えを新たにしなければと思った。(魚沼市堀之内/女性)
- ・ 地震の後、延べ7日間のボランティア活動に参加した。被災地の状況を現場で真に拝見し、自然の猛威と恐ろしさを実感した。改めて震災や砂防を中心とする土砂災害防止の重要性を痛感した。(十日町市/男性)
- ・ 震災は、いつ再び襲って来るかも知れないという不安とその対応(物心両面)が必要と思います。(十日町市/男性)
- ・ 災害は忘れないうちに又やって来る・・・来た・・・。春以来、小河川の氾濫で土砂流出が数多く、国家の手が入らないで困る。(十日町市/男性)
- ・ 本震の後に続いて、次々と余震が来た。電気はすべて消えて暗くなっていた。戸外で大勢の人々の話す声が、声高に聞こえる。取りあえず私達老夫婦も、外に出て見た。「家の中は危険だから、役場の駐車場に避難する。」そういう人々に混じって、私達も避難した。当日はとても寒い夜だった。コンクリートに直に敷いたシートを通して寒さが射し込んできた。こういう事態に備えて、私達はそれぞれ非常食、水、医薬品等々を入れたリュックを、いつでも持ち出せる様にしていた。所がその事には全く気付かず何も持たずに避難所に来てしまった。あの袋を持って来たら、ホッカイロで寒い思いもしなくて済んだものに。後悔したが怖くて家には戻れない。勿論電気もガスも止めて来なかった。非常袋は用意したが、心の用意がそれにも増して大切だと、しみじみ知った。もしあのまま家に帰れなかったらと思うと、ぞっとする。(魚沼市/男性)

## 復興への思い

- ・ 昨年7月の豪雨、その後の中越地震、そして今冬の豪雪、更に今夏6月28日及び8月15日の豪雨と、断続的に自然災害に見舞われて来た。また当地域は、地すべり区域や急傾斜地帯、砂防区域等に加え、中山間地・特別豪雪地帯にある。この厳しい自然条件下にあっても、地域住民は経済の発展、福祉向上や文化高揚などを求めて、復興に頑張っている。この様に我々の先祖も古代から延々と生活を育み、永い歴史を刻んできた事を思うと、感慨無量。(十日町市/男性)
- ・ 我が家も地震の傷跡がまだまだ多く残っている。街も復旧工事が進んでいるがまだ活気に乏しい気がする。“元気になる”催しも多く行われるが災害弱者は今一つ、元気になれていない。少しずつでも前進していきたい。年よりが元気になることが大切、他人に頼らず自分の足で一步一步進みたい。(十日町市/男性)
- ・ 早い1年間でした。いつも追われているみたいに日々を過ごし、でもそれで生活してこれたと思う。もっとたくさんのつらい思いを抱いている人も多いと思い、「つらい」は云わないで来ました。実家は失いましたが、家族は無事でしたので、それだけで有難く、これからはみんなで生活します。(小千谷市/女性)

## 本日の講師・地元ゲスト

### 星野正昭 ダム建設課長

新潟県魚沼地域振興局地域整備部のダム建設課長。現場で広神ダムについての説明と新潟県中越地震時の対応などについてお話し頂きます。

### 荒川勝利 さん

元六日町高校の理科教諭。湯沢町の町史編纂における「湯沢の自然 1 - 地形・地質・気象 - 」の自然部会の編集委員。湯沢砂防では、魚沼自然塾のほか、小中学校の総合学習支援の講師としてお世話になっています。中越地震後、地学団体研究会新潟支部新潟県中越地震調査団として、被害状況などの調査をされ、特に魚沼市地域を詳しく調べておられます。本日は兔畑の現場で、魚沼市の地形・地質についてお話し頂きます。

### 小林 正 区長

小松倉地区の区長さん。子供の頃、家族や地域の人たちが中山隧道を掘っていた様子をはっきりと覚えているそうです。当時の人々の思いや苦労について、現地でお話し頂きます。

中越地震にはご自宅で入浴中に襲われました。激しい縦揺れで、風呂の水が天上まで跳ね上がったそうです。中越地震の体験談や、山古志の自然とくらしについてのお話を室内の部で伺います。

### 小川喜太郎 建設課長

長岡市山古志支所の建設課長。ご自宅は小松倉にあるそうです。震災後、合併前の山古志村建設課長として、当時の長島村長らとともに住民の安全確保や災害復旧に当たりました。本日は、地震直後の体験や、役場での震災後の対応についてお話を伺います。

## - メモ -

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---